

第47回生命科学先端研究センター 学術セミナー

日時：平成21年6月26日（金）午後5時から

場所：附属病院2階 臨床講義室(1)

講師：神谷研二 先生

（広島大学原爆放射線医科学研究所所長）

演題：「放射線の人体影響と生体の防護機構」

内容

放射線は、ゲノム損傷を誘発しこれが原因となりアポトーシスによる急性障害や突然変異の誘発によるがん等の晩発障害が発症します。最近の研究により、放射線被ばくにより誘発されるゲノム損傷に対する修復機構や細胞応答機構が次々と解明され、これらの機構がゲノムの恒常性を維持するための根幹的なメカニズムであると同時に、個体を様々なストレスから守る細胞の防衛機構であることも明確になってまいりました。

本講演では、放射線の人体影響の概要を説明し、ゲノム損傷応答機構と発がんの防御について概説致します。

※本セミナーは大学院医学薬学教育部の単位認定の対象に、またセンター放射線業務従事者に対する教育訓練（再教育）の対象となります。多数の教職員・学生の来聴を歓迎します。

◎問い合わせ先

近藤 隆（杉谷キャンパス放射線管理委員会委員長，大学院医学薬学研究部教授）

電話：434-7265

メール：kondot@med.u-toyama.ac.jp